



なめがわ地域 福祉支援センターHP <https://www.kokoro.or.jp/namefuku>



なめがわ地域 福祉支援センター



〒355-0811

埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7

TEL0493-81-5101/FAX0493-81-5102



ケアマネジャーにできること

指定居宅介護支援事業所 いづみ

所長 しまだ ゆかり

紫陽花の青の美しさに目を奪われ、水田の蛙の鳴き声が賑やかになったかと思うと、もうすぐ梅雨明けしこれから暑い夏がやってきます。最近では夏が長い気がすると思っておりましたが、それは気のせいではないようで、今や1年365日のうち約4割の140日以上が25℃以上の夏日を記録するようになりました。日本周辺の海面の温度が世界でも飛びぬけて上昇していることが一因のようです。私達も地球温暖化を食い止めるためにできる事をしなければと考えさせられます。

さて、近年介護現場では利用者様やそのご家族からのクレームやハラスメントへの関心が高まっており、アンケート調査によると約4割のケアマネが何らかのハラスメントを経験しています。その中でも特に深刻なのがカスタマーハラスメント、通称「カスハラ」の問題です。「カスハラ」とは、利用者様やご家族などが提供者に対して行う不当な要求や嫌がらせ行為を指し、行政機関もその防止に向け対策を講じ始めています。

高齢者介護という特性上、利用者様やそのご家族が抱えるストレスや不安がケアマネに向けられる形で噴出することも多く、業務の性質上、利用者様との接点が多いためカスハラのターゲットになりやすい立場にあります。ケアプランの作成、各種手続きの代行、サービス事業所との調整など、多岐にわたる業務に対して不満が出やすく、さらに「何でもやってくれる」と誤解されることがあるからです。業務範囲や役割の誤認から理不尽な要求を受けることが多く、被害に遭いやすい職種といえるでしょう。このようなカスハラの問題はケアマネの精神的な負担を増大させ、職場環境を悪化させる要因となります。最適な支援が届かなくなる事で、利用者本人が不利益を被ることにもなりかねません。

私共事業所では一人で問題を抱え込まないよう、互いの情報共有や上長への報告を速やかに行い、早期に解決できるよう対応しています。また、ハラスメントを正しく理解し防止に取り組みつつ、過敏に反応しすぎない様、留意しています。定期的な面談の中で「今どんな状況か」「どんな選択肢があるか」をわかりやすく説明することで、誤解や不安を軽減できます。また、できる事とできない事をお伝えし、「困ったことがあれば一緒に考えましょう」と寄り添う姿勢を見せることで安心感を与えられます。日頃からの信頼関係の構築とコミュニケーションを大切にし、相互に尊重し合い理解を深める日々の積み重ねがカスハラの予防に直結すると考えています。介護を受ける側も支援する側もお互い人間同士、相手を思いやる気持ちで関わり合いたいものです。

■指定居宅介護支援事業所 いづみ



「未病」という言葉をご存じですか。病気ではないけれども健康でもない状態で「だるい」「疲れやすい」「不眠」などの事です。自覚症状がなくても検査で異常が見つかる場合と、自覚症状があっても検査には異常がない場合に大別されます。高齢になり筋力低下や認知機能の衰えを感じる「フレイル」とは別のものです。どちらも早期の対応が必要ですが、未病はバランスの取れた食事、質の良い睡眠、適度な運動などの生活習慣の予防や社会との繋がりを持つなど日常のケアで改善する可能性が高いといわれます。病気のリスクを減らし健康寿命を延ばすためにも日ごろの生活習慣に目を向けてみましょう。

介護の事でお困りのことや相談したいことがありましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先: ☎ 0493(57)2226(月曜～金曜 8:30～16:30) 担当:しまだ

■特定・一般相談支援事業所 なめがわ



このたび、特定相談支援事業所なめがわでは、新しいスタッフが加わり、障害福祉サービス利用に向けて、迅速に対応できるように、相談支援員一丸となりサービス向上に努めて参りたいと思っています。

相談支援専門員のおおのと申します。これまでは、就労継続支援 B 型事業所に勤務し、作業活動や就職に向けての支援を行っておりました。今後は、利用者様の希望や生活の困りごとに対し、適切な福祉サービスを紹介し、少しでも生活が豊かになるような支援ができればと思っています。相談支援専門員としては、まだまだ経験や知識が不足しておりますが、一日も早く一人前になれるよう、精一杯努力していきます。よろしくお願いします。

お問い合わせ先: ☎ 0493(53)4761(月曜～金曜 8:30～16:30) 担当:あきや

■おとなの学校 ～ 毎週水曜日に開校中～

「おとなの学校」とは学校を模した授業形式で学ぶことにより、高齢者の方々の意欲を高め、心身の活性化をはかる新しい高齢者のケアです。毎月更新される教科書を中心に、国語、算数、理科、社会、音楽、家庭科、保健、体育の教科から選択し授業を行います。

教科書で問題を解く・覚えることよりも、昔を思い出して活発に発言していただくことを大切にしています。講師も参加者の方々から貴重なお話や体験を伺い、一緒に学ぶという気持ちで教壇に立っています。

開催場所: 当センター2階 多目的ルーム

開催曜日: 毎週水曜日(祝日を除く)

開催時間: 13:30～15:00

お問合せ: 0493(81)5101

(月曜～金曜 8:30～16:30)

担当: とさか



テキスト

※個人情報の保護の観点から氏名の表記はひらがなとさせていただきます



編集後記

毎月の様に食料品の値上げが発生しています。日本の主食であるお米の価格についても、もう少し下がって欲しいですね。

編集担当: かねこ